

平成25年10月の地域情報ポータルサイトG-mottyの運用開始以降、周辺自治体、大学・高校、住民の皆様とGISとG-mottyを活用した取り組みを実施し、自治体における業務の改善や持続的なまちづくりに繋がるような成果が生まれてきました。これまで地域で作上げてきた成果を自治体職員、大学・高校などの教育機関、民間企業、住民の皆様など幅広い方々にご紹介しようと、「**G空間サミット2016 ~地域について語り合い、地域を知ろう!~**」を開催いたします。

## ◆開催日時・場所・内容

### (1) 2016年11月22日(火) 10:00 ~ 17:00

【場所】八幡西生涯学習総合センター（北九州市八幡西区黒崎3丁目15番3号 コムシティ2F、3F）  
大会議室、201・202・204・205会議室

【内容】・自治体、大学、高校、住民の皆様による事例発表  
・デジタルラジオ、コミュニティFMとG-mottyが連携した新しいメディアの紹介  
・ワークショップ（『全国お国自慢すごろく』をみんなで作ろう!）

※当日受付にて、**先着100名様**に高齢者の手指訓練で作成したドレッシングをプレゼント!

### (2) 2016年11月23日(水・祝) 10:00 ~ 17:00

【場所】北九州市環境・コミュニティセンター 10:00 ~ 12:00  
(北九州市若松区本町2丁目9番4号 明治街銀街内)

【場所】旧古河鋳業若松ビル 12:00 ~ 17:00  
(北九州市若松区本町1丁目11番18号)

【内容】・スマートフォンを利用した街歩き  
・ポケモンGOの要素技術を利用したロゲイニングゲーム「とっところ」

※当日、北九州市の食材を利用した**Goose カレーを500円**で提供します!

※「とっところ」では、参加賞や若松区のお土産品などの賞品も用意しています。



**参加費は無料!**  
**事前登録をお願いします!**

◆プログラム

◆日時：2016年11月22日(火) / 場所：福岡県北九州市八幡西区黒崎3丁目15-3 八幡西生涯学習総合センター

▼大会議室

(敬称略)

プログラム	時間	タイトル	内容	講演者
A-1	10:15 - 10:45	若松の石炭産業と市街地図		北九州市 旧古河鋳業若松ビル 館長 若宮 幸一
A-2	10:45 - 11:15	漆器 古今東西	漆器を英語に訳すと"JAPAN"です！まさに日本の文化を象徴している漆器の魅力や全国色々な地域で作成されている漆器の特徴や漆器の取り扱い方法等について分かりやすく解説します。	あらい有限会社 代表取締役社長 荒井 俊勝
A-3	11:15 - 11:35	G-mottyや北九州地域の自治体でのGIS共同利用の意義	地域情報ポータルサイトG-mottyや北九州地域の自治体でのGISの共同利用で何が実現でき、今後何をを目指すのかについて解説します。	兵庫県立大学総合教育機構 准教授 浦川 豪
A-4	11:35 - 12:00	デジタルラジオ×コミュニティFM× G-mottyで実現する新しいメディア！	デジタルラジオとコミュニティFMをG-mottyという異色のコラボで実現した新しいメディアとは・・・！どんなことが実現できていて、今後どんなことを目指すのかを解説します！	(株)アマネク・テレマティクスデザイン 副社長 庄司 明弘 AIR STATION HIBIKI (株) 代表 武智 充
A-5	13:00 - 13:20	自治体で取り組んでいるGISの紹介	GISワーキンググループが主体となり構成される庁内横断的組織：GIS活用推進委員会の活動も今年で8年目になる。委員会では「業務改善プロジェクト」と題し、職員が業務をコンサルティングし、改善システムを構築することで業務の効率化を図っている。「市民窓口での住基ポイント更新システム」など、委員会での業務改善事例を紹介する。	直方市 産業建設部階層計画課 松田 欣也 総合政策部人事課 加藤 立寛
A-6	13:20 - 13:40	GISの活用による下水道事業の推進	GISの活用による下水道事業の管理により、下水道事業受益者負担金、管網図、説状況などを効率的に以前利用していた下水道台帳システムがパソコンの老朽化などの理由により台帳の維持をしていくための手段を模索していました。その際、GISに移行した経緯や実際の移行させた方法や現在行っている作業などを発表します。把握できるようになりました。今後、普及活動にも利用していく予定です。	行橋市役所 環境水道部下水道課 入生 健司

◆プログラム

▼大会議室

(敬称略)

プログラム	時間	タイトル	内容	講演者
A-7	13:40 - 14:00	下水道台帳のGIS利用について	以前利用していた下水道台帳システムがパソコンの老朽化などの理由により台帳の維持をしていくための手段を模索していました。その際、GISに移行した経緯や実際の移行させた方法や現在行っている作業などを発表します。	苅田町役場 上下水道課 主任技師 中島 俊明
A-8	14:00 - 14:20	庁内GISの活用促進について	香春町では従来スタンドアロン型のArcGISを各課で業務活用しており、課題としては、課を横断する地図情報の共有ができていないことでした。Web型GISを導入してどのように課題を解決したか事例発表します。	香春町役場 総務課電算係長 高松敬二郎
A-9	14:30 - 14:50	鞍手町におけるGISシステムの活用と今後の展望	鞍手町は、平成28年度から新たにKRIPP（北九州市地区電子自治体推進協議会）のGIS部会に参加を致しました。本格的な運用はこれからですが、今まで別システムで蓄積してきたGISの情報を新たな環境でどのように活用できるのかを考察いたします。	鞍手町役場 総務課 井料 知己
A-10	14:50 - 15:10	GISを活用した災害対応業務支援の取り組み ～いざという時のために～	『災害時に必要な情報は何か？』をテーマに庁内GISワーキンググループで検討を重ね、庁内横断的に利用可能な『災害業務支援コンテンツ』を作成することで迅速に状況を把握することが可能となりました。その内容を紹介します！	北九州市 建設局総務課 友澤 健吉 危機管理室危機管理課 小田 晋
A-11	15:10 - 15:30	GISの活用による業務改善と地域の魅力発信	当WGでは、日常業務でGISを使用していないメンバーを中心に、ユーザー目線を大事にして、GISを活用した業務改善に取り組んできました。また、GIS習得の過程で、多種多様なマップを作成しながら、地域の魅力を発見・発信したので紹介します。	北九州市 環境局循環社会推進課 北尾 多貴男
A-12	15:40 - 16:10	ワークショップ 全国お国自慢すごろく		

◆プログラム

▼201会議室 (街の魅力探索①)

(敬称略)

プログラム	時間	タイトル	内容	講演者
B-1	13:10 - 13:50	あなたの知らない若松	官営八幡製鉄所の誘致は当時の若松の都市力・人脈によるところが大きいため、「若松がなかったら、今の北九州市はなかった」と言われています。そんな若松の魅力を多くの人に伝えるため、Goose Loc'Rでは、G-mottyと連携して若松の街歩きを実施します、その内容や若松の魅力について紹介します。	旬彩果実 松尾商店 代表 松尾 昌典 松尾 尚子
B-2	13:50 - 14:30	地域課題の解決が学校を開く	新しい学習指導要領では、「社会と連携・協働」がキーワードとなり、「地域のひととの対話」が重視されています。小倉高校は、現在、「スタディ・ツアー」という事業で、北九州市との連携・協働を試行しています。その一つとして、「地図アプリを活用した地域の活性化」に取り組んでいます。	福岡県立小倉高等学校 福泉 亮
B-3	14:30 - 14:50	神戸・舞子の旅		兵庫県立大学 総合教育機構 教授 森永 速男
B-4	15:00 - 15:10	GISの電力分野への応用 ~地理情報と太陽光発電~	地理情報、特に高さと太陽軌道の情報を組み合わせれば、太陽光パネルの日射量の解析が可能になります。太陽光発電の設置に適した土地や屋根の把握、影の向きを机上で評価できるようになりました。	九州工業大学 湊野 凱
B-5	15:10 - 15:20	防犯フィールドワークでのGIS活用	私たちは小学生を対象にした防犯フィールドワークを市内で展開しています。大学生が講師として活動する中、課題がありました。場所に関する情報共有です。今回GISの活用を通し、課題解決の事例をご紹介します。	北九州市立大学 防犯・防災プロジェクト (MATE's) 近藤涼太
B-6	15:20 - 16:10	ワークショップ 全国お国自慢すごろく		

## ◆プログラム

## ▼202会議室（街の魅力探索②）

（敬称略）

プログラム	時間	タイトル	内容	講演者
C-1	13:10 - 13:20	クラウドGISを活用したライフストーリー研究	兵庫県淡路市阿万地区で行ったGISを用いたライフストーリー研究の紹介をします。 この研究を発展させ、東日本大地震の被災地で放射性物質の影響を受けた福島県南相馬市の被災者の方々とで実施する研究についても紹介します。	兵庫県立大学 岩木 雄亮
C-2	13:20 - 13:30	とっところ、若松。	西南女学院大学WILLのご紹介とWILLで作成した若松デートスポット紹介、その成果を利用し、11月23日に実施するイベントを紹介します！	西南女学院大学 観光文化学科 石田 美樹、梶原 理沙
C-3	13:30 - 13:50	中山間地域における地域資源情報のマップ化・共有化の事例報告	私たちの研究室では、広島県内の中山間地域において、住民の皆さんと地域資源情報のマップづくりを行ってきました。 本報告では、その事例を取り上げ、マップ作成の目的、マップ作成方法、成果マップ、作成したマップの活用方法等を報告します。	広島大学 田中 貴宏
C-4	14:00 - 14:10	GISの電力分野への応用 ～電気自動車電力管理・走行支援システム～	道路ネットワークに高さ情報や位置を持つ情報を組み合わせることで、電気自動車のエネルギー情報の提供が可能になります。充電ステーションまでの走行支援や災害時に電力を運ぶ支援などの幅広い応用も可能になりました。	九州工業大学 田之上 健太
C-5	14:10 - 14:30	樋井川流域におけるe防災マップ作り	分散型多目的市民ダム普及活動の一環として福岡市の2級河川樋井川流域3校区について水害避難ガイドブックをもとにハザードマップをGISで作成・KML化してeコミュマップで公開し、防災科研の防災コンテスト優秀賞として表彰されました。	福岡工業大学 社会環境学部 教授 森山 聡之
C-6	14:30 - 16:10	ワークショップ 全国のお国自慢すごろく		

◆プログラム

▼204会議室 (フリーセッション)

(敬称略)

プログラム	時間	タイトル	内容	講演者
D-1	13:10 - 13:50	会津VS長州グルメ自慢	会津若松と長州は犬猿の仲と言われて います。実際にどうなのでしょう? また、歴史上、長州藩が勝利をおさめ ましたが、G空間サミットでは、どち らのグルメを食べたいかを会場の皆さ んが投票して勝ち負けを決めます。こ の対決どちらが勝つのでしょ うか???	伊藤 文徳 (会津若松代表) 河村 真治 (長州代表)
D-2	13:55 - 14:25	Geo Mentor講習会	「Geo Mentor」についてのご紹介 /米国での取り組みについて	兵庫県立大学総合教育機構 准教授 浦川 豪
D-3	14:30 - 16:10	GIS最新技術情報の紹介		ESRIジャパン 藤春 兼久

◆日時 : 2016年11月23日(水・祝)

▼場所 : 福岡県北九州市若松区本町2-17-1 北九州市環境・コミュニティーセンター

プログラム	時間	タイトル	内容	案内人
E-1	10:00 - 11:00	若松街歩き① 「若松の歴史と歴史的建造物を知ろう!」	小倉高校SSHの生徒さんが考えた街歩 きコースを地元の道先案内人がご案内 します。	Goose Loc'R
E-2	11:30 - 12:00	若松街歩き② 「火野葦平ゆかりの地をめぐる!」		Goose Loc'R

## ◆プログラム

◆日時：2016年11月23日(水・祝)

▼場所：福岡県北九州市若松区本町1-11-18 旧古河鉱業若松ビル

プログラム	時間	タイトル	内容	案内人
E-3	14:00 - 14:30	若松街歩き③ 「恵比須神社の施設を知りその周辺施設を知ろう！」	小倉高校SSHの生徒さんが考えた街歩きコースを地元の道先案内人のご案内します。	Goose Loc'R
E-4	15:00 - 15:30	若松街歩き④ 「ロケ地と俳優が訪れたお店をめぐるう！」		Goose Loc'R

プログラム	時間	タイトル	内容	案内人
E-5	13:30 - 16:30	ロゲイニングゲーム「とつとこ ~素敵な瞬間を若松で~」	地図を片手にあらかじめ設定されたチェックポイントを制限時間内にできるだけ多く回って写真をとり、得点を競うゲームです。	西南女学院大学 WILL

## ◆講演者

下記URLで講演者のみなさまをご紹介します。

<https://kitakyushu.maps.arcgis.com/apps/StoryMapCrowdsource/index.html?appid=24012d3743c74a69a04446a5cea59a90>

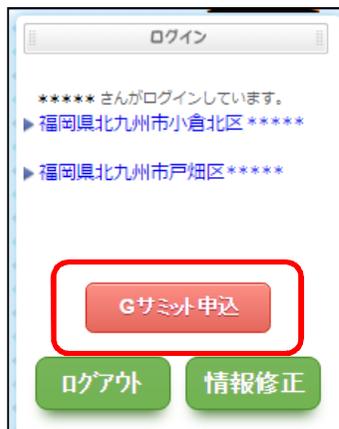
◆参加申込み方法

(1) G-motty ログイン画面から登録

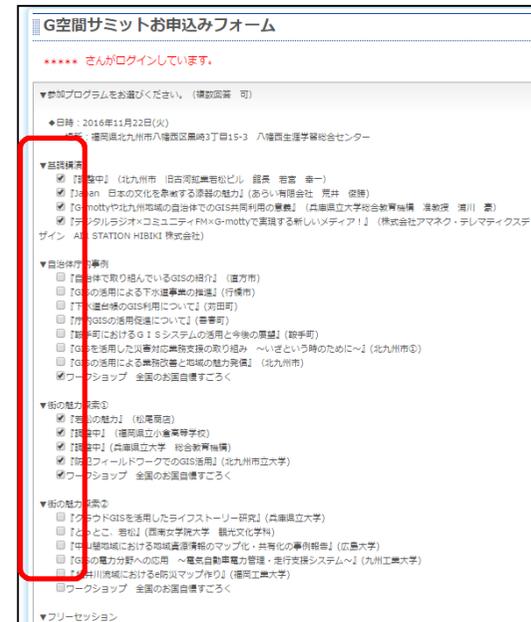
1. G-motty ID・PASSでログインします。



2. [Gサミット申込]ボタンを選択します。



3. 参加したいプログラムにチェックを入れます。(複数可)



4. 画面下方の[入力した内容を登録]ボタンを選択して、登録完了です。



## (2) メールによる申込み

1. 下記URL宛にメールでお申込みください。

E-mail: [info@g-motty.net](mailto:info@g-motty.net)

題名 : G空間サミット申込み

本文 : 下記必須事項をご記入の上、参加希望のプログラム番号を記述してください。

- ・お名前\_
- ・団体・所属名\_
- ・参加ご希望プログラム\_

## (3) FAXによる申込み

1. お申込みフォームをダウンロードの上、下記FAX番号へお送りください。

お申込み・お問い合わせ先 :

北九州市総務局情報政策部情報政策課

TEL : 093-582-2847 / FAX : 093-562-1061



### ◆お問い合わせ先

- E-mailでのお問い合わせ : [info@g-motty.net](mailto:info@g-motty.net)
- 北九州市総務局情報政策部情報政策課  
TEL : 093-582-2847 / FAX : 093-562-1061